

令和3年度 公立高等学校入学者選抜

学力検査問題

国 語

注 意

- 1 検査係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 問題は【問一】から【問五】までであり、問題冊子の2～9ページに印刷されています。10ページには、下書き用の枠があります。
- 3 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書き入れなさい。
- 4 解答用紙にマスがある場合は、句読点、カギ括弧(「や」)などもそれぞれ一字と数えて書きなさい。
- 5 下書きが必要なときは、問題冊子のあいているところ、または10ページの下書き用の枠を使いなさい。

【問一】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

この文章は著作権者の許可が得られてから掲載します。

(1) 文章中の~~~~線部のよみがなを、ひらがなで書きなさい。

- ① 推 ② 余儀 ③ 安易
④ 随時 ⑤ 柔軟 ⑥ 営

(2) ——線部①「ない」と同じ品詞を含むものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア かぎりない イ 欲しくない
ウ 知らない エ ペンがない

(3) この文章は、「流れ」と「構え」について論じられている。

「流れ」と「構え」について、筆者はどう説明しているか。次のようにまとめるとき、**a**、**b** に当てはまる最も適切な言葉を、本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

文脈を意識して **a**(三字) に考えながら文を追加していくボトムアップ式の活動を「流れ」とし、文章全体の **b**(三字) に沿って書いていくトップダウン式の活動を「構え」とする。

(4) **A**、**B**、**C**、**D** に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- | | | | |
|---|----------|-------|------|
| ア | A | つなごろう | 近接情報 |
| イ | C | 意図的 | 迎えよう |
| ウ | A | 移行しよう | 新情報 |
| エ | C | 無目的 | 離れよう |
| | A | 移行しよう | 近接情報 |
| | C | 意図的 | 離れよう |
| | A | つなごろう | 新情報 |
| | C | 意図的 | 離れよう |

(5) ——線部②とあるが、どのようなことか。七十字以上八十字以内で書きなさい。

(6) 筆者の論じ方の工夫を、次のノートのようにまとめた。
あとの i、ii に答えなさい。

ノート

○林氏の言葉を引用することで、**c** している。
○「流れ」と「構え」について、「魚の目」と「鳥の目」の比喩を用いて説明している。
○車の運転に **d**(四字) することで、「流れ」と「構え」を調整しながら自らの判断で **e**(八字) という文章を書く行為を説明している。
○全体を通して、二つの事柄を対比しながら論じている。

i ノートの **c** に当てはまる最も適切な言葉を、次の

A イから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 読者に問題提起 **イ** 筆者の考えを補強

ウ 話題を転換 **エ** 対照的な考えを提示

ii ノートの **d**、**e** に当てはまる最も適切な言葉を、本文中からそれぞれ指定された字数で抜き出して書きなさい。

(7) 筆者の論じ方の工夫の一つである対比を用いて、「相手に思いを伝えるときに、次の A または B の手段のどちらを使うか」について、自分の考えを書くことになった。あなたの考えを、あとの〈条件 1〉〜〈条件 3〉と《注意》に従って書きなさい。

A 直接会って口頭で伝える

B 手紙やメールなどの文章で伝える

〈条件 1〉A と B それぞれの長所または短所を明らかにして、対比させながら書くこと。

〈条件 2〉〈条件 1〉に基づいて A または B のどちらを使うか場面を示して書くこと。

〈条件 3〉七十字以上九十文字以内で書くこと。

《注意》「直接会って口頭で伝える」を A、「手紙やメールなどの文章で伝える」を B とし、A と B の記号を使って書くこと。

※(5)と(7)の下書き用の枠は、10 ページにあります。
解答は、解答用紙に書きなさい。

この文章は著作権者の許可が得られてから掲載します。

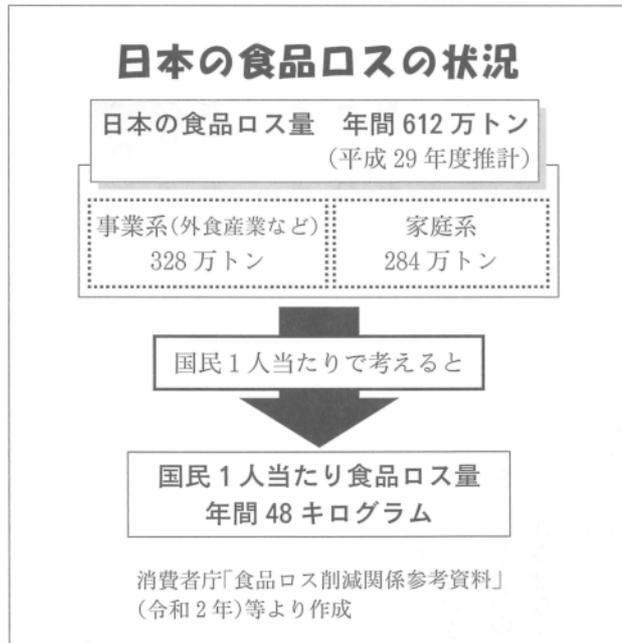
【問二】 国語の学習で、体験や調査から考えたことについて、スピーチをすることになった。青木さんは、山川さんにスピーチの練習を聞いてもらい、アドバイスをもらうことにした。次は、**I** 青木さんの構想メモ、**II** 提示資料、**III** 青木さんのスピーチ内容、**IV** 山川さんの聞き取りメモ、**V** 追加資料である。これらを読んで、下の各問いに答えなさい。

I 青木さんの構想メモ

【考えたこと】 *食品ロスを生まない工夫が必要			
順序	時間(秒)	内容	工夫したいこと
1	15	・話題提示	
2	60	・きっかけ ・調べたこと (食品ロスやたい肥作り)	・身近なことから。 ・資料を提示する。
3	80	・体験の様子 ・わかったこと ・考えたこと	・混ぜているときの 写真を見せる。 ・たい肥の写真を見せる。 ・感じたことが伝わるように間を取る。 ・要点的に話す。
4	15	・あいさつ	

* (注) 食品ロス=本来食べられるのに捨てられる食品

II 提示資料



III 青木さんのスピーチ内容

私は、生ごみでたい肥作りにチャレンジしました。その体験から考えたことを話します。

きっかけは、近くのスーパーです。近くのスーパーでは、夕方にお総菜の割引きを行います。聞いてみると、少しでも「食品ロス」を出さないための工夫だと店員さんがおっしゃっていました。

食品ロスとは何か、調べてみると、本来食べられるのに捨てられる食品のことでした。こちらの資料を見てください。(II)を見せる) 日本では、六百十二万トンの食品ロスが発生しているとわかりました。それ以来、私の家でも食品ロスを出さないために「計画的に買う」「食べる分だけ作る」などの工夫をするようになりました。しかし、まとめ買いをした結果、使いきれなかったり、その日の体調で食べきれなかったりすることなどがあり、

(1) **I** の構想メモの特徴として適切なものを、次のア～エから二つ選び、記号を書きなさい。

- ア 時間配分、内容、相手を意識した話し方をしようとしている。
- イ 説明する上で効果的な写真と資料をそれぞれ一つずつ使い、提示しようとしている。
- ウ アンケート結果を使って、話題提示をしようとしている。
- エ 調べたことと考えたことを区別して、順序や構成を工夫している。

主な内容	意見や根拠の適切さ 発表の工夫 ○…よい点 △…気になる点
・たい肥作り	
・近くのスーパー ・食品ロスとは ・食品ロスを出さない	○取り組みのきっかけ がわかりやすい。 △612万トンという 量の多さがもっと 伝わるようにしたい。
・たい肥作り ・毎にかき混ぜる ・食品は資源	○写真があり、わかり やすい。 ○実体験で説得力が ある。 △ <u>気になる言葉の 使い方があった。</u>
・少しでも減ら したい	

Ⅳ 山川さんの聞き取りメモ

どうしても残ってしまうことがありました。そこで、残ったものをなんとかできないか考え、インターネットで調べて見つけた、たい肥作りを試してみようと思いました。実際に段ボール箱を容器として使いました。段ボール箱の中に土や米ぬかと一緒に生ごみを入れ、空気に触れるようかき混ぜます。(写真を見せる) 毎にかき混ぜたり虫が来ないように防いだりと、思ったよりも手間がかかりました。作ったたい肥は、プランターや庭の畑にまきました。

たい肥作りでは、少しずつ生ごみの様子が変わることがおもしろかったです。(写真を見せる) できたたい肥を見たとき、私は、食べ物はどうやって土になり、そこでまた野菜ができ、私たちの暮らしの中で循環していくのだなということを実感しました。つまり、私がわかったことは、残った食品は、ごみではなく大切な資源です。ごみとしてただ捨てるのではなく、たい肥として生かすことは、我が家の食品ロスの課題解決につながる方法だと思いました。

食品ロスは、解決したい社会問題の一つです。食品ロスをゼロにすることは、無理だという人もいるかもしれませんが、しかし、自分たちにできることで、少しでも解決することができたらと思います。買うとき、調理するとき、食べるとき、残したときなど、その時々で食品ロスを生まない工夫はあると思います。私はこれからも自分にできることを考えていきたいと思いました。

これで、私の発表を終わります。ありがとうございました。

世界の食料支援の状況

国連の支援食料 年間 380 万トン
世界 83 カ国へ(2017 年)

国連WFP(世界食糧計画)「数字で見る
国連WFP 2019 年」(2020 年)より作成

Ⅴ 追加資料

- (2) 青木さんは、自分と異なる考えをもつ聞き手からの反論を想定している。それがわかる言葉はどこか。Ⅲ から一文でさがし、最初の七字を書きなさい。
- (3) Ⅳ の内容から、山川さんがどのようなことに気をつけて聞いていると言えるか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。
- ア 青木さんの発表を自分の考えと比較し、共通点をさがしながら聞いている。
- イ 青木さんの発表を、表現の仕方や効果に注目し、評価しながら聞いている。
- ウ 青木さんがどのような気持ちで発表をしようとしているか、想像しながら聞いている。
- エ 青木さんの発表を聞き終わった後で、発表の仕方でのよい点だけを伝えようとして聞いている。
- (4) 青木さんは、山川さんから、Ⅳ の線部のような指摘を受けた。そこで、スピーチの録画を見返し、Ⅲ の線部を直す必要があると気づいた。「資源です」の部分を、実際に話すように書き直しなさい。
- (5) 青木さんは、山川さんから、Ⅳ の線部のような指摘を受けた。そこで、Ⅱ に加えてⅤ の資料を用いて、Ⅲ の線部を、日本の食品ロス量がいかに多いかが伝わるように言い換えることにした。あなたならどのように話すか。次の〈条件1〉～〈条件3〉と《注意》に従って書きなさい。
- 〈条件1〉「日本では、」に続けて書くこと。
- 〈条件2〉Ⅱ 及びⅤ それぞれにある数値を用いて書くこと。
- 〈条件3〉六十字以上八十字以内で、実際に話すように書くこと。
- 《注意》 数字の書き方は、「二五」または「二五」のどちらでもよい。
- ※(5)の下書き用の枠は、10ページにあります。
- 解答は、解答用紙に書きなさい。

【問五】

次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

この文章は著作権者の許可が得られてから掲載します。

(1) 文章中の~~~~線部を漢字に直して、楷書で書きなさい。

① セツジツ ② ムラ

(2) ———線部①の「千々に乱れる俺の心」を投影して表現しているものは何か。十字以上十五字以内で書きなさい。

(3) ———線部②の理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 試合に負け、泣いて涙で濡れた横川の顔に、真夏の太陽の光が当たって反射して見えたから。

イ 試合に負けた悲しさを表に出さずに感謝の言葉を口にする横川の態度が印象的だったから。

ウ 試合に負けた悔しさに共感しながらも、自分とは違う横川の姿を美しいと感じたから。

エ 悔しい気持ちがあるはずなのに、他人に気を遣う横川の姿にいらだちを感じたから。

(4) ———線部③「甲子園球場のざわめきが、一気によみがえった」ことから、「俺」が何に気づいたことがわかるか。それがわかる一文を本文中からさがし、最初の七字を書きなさい。

(5) 次の□は、中村さんと石井さんが、この文章の表現の特徴について話し合っている様子である。

中村 ———線部の心の内の言葉は、水を求めている

ことから、「俺」の心が□A□様子で
あることがわかるね。

石井 さらに、倒置法で表現されていることで、
求めていることが、より強調されているね。

この文章は著作権者の許可が得られてから掲載します。

*(注)

トンボ₁土をならすための道具

ダウン₂体の疲労を回復させることを目的として行われる運動

(朝倉宏景「雨を待つ」)

中村 その後、見上げた空の情景描写にも、「俺」の心情が暗に示されていてそうだよ。

石井 例えば、本文中にある「B(十二字)」は、「俺」の今後の可能性を表していそうな空の描写だね。

中村 「あされるほど、晴れ渡っていた」という描写にも表現されていると思うな。

石井 〓線部の表現から問いかけの表現に変わった。「C」の一文には、「俺」の心情の変化が表れていそうだね。

中村 題名の「雨を待つ」につながる描写だね。

i A に当てはまる適切な言葉を書きなさい。

ii B に当てはまる最も適切な言葉を、本文中から指定された字数で抜き出して書きなさい。

iii C に当てはまる一文を本文中からさがし、最初の五字を書きなさい。

(6) 中村さんは、――線部④に表れている「俺」の気持ちを考えるために、関係すると思われる文から読み取ったことを付せんに書いた。付せんと踏まえて、線部④に表れている「俺」の気持ちを五十文字以上七十字以内で書きなさい。

付せん

……線部 a の「うつむきすぎ」という言葉から、「俺」がいつも下を向いている様子がわかる。

……線部 b の「視界が少し晴れた」というところから、「俺」の見渡せる範囲が広がり、将来への見通しをもち始めた様子がわかる。

※(6)の下書き用の枠は、10 ページにあります。

解答は、解答题紙に書きなさい。

